

補助金評価シート

区分	重点・ 重点以外	補助根拠	法令補助	その他補助	開始時期	令和3年4月1日	終期	令和6年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]		(公財)新潟市芸術文化振興財団運営費補助金(アーツカウンシル新潟) 市民の文化芸術活動の活性化や文化と他分野との連携を推進し、本市の持続的な文化創造交流都市の推進体制を構築するために、アーツカウンシル新潟の運営費に対して補助を行う。						
款・項・目		総務費・総務管理費・文化振興費						
所属等		文化スポーツ部 文化政策課 未来創造グループ 電話 025-226-2565						

年 度		令和3年度(1年目)	令和4年度(2年目)	令和5年度(3年目)
予算額等の推移	予算(千円)	30,506	31,030	32,503
	決算(千円)	28,774	28,126	25,865
補助率				

目 標	市民の文化芸術活動の活性化や文化と他分野との連携を推進し、本市の持続的な文化創造交流都市の推進体制を構築する。 <small><目標が数値でない場合の評価方法> 事業報告書等により相談・支援の件数や内容など事業実績を確認し、本市の持続的な文化創造交流都市の推進体制の構築に寄与しているか総合的に評価する。</small>
-----	---

目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上				
	達成率 80%以上				
	達成率 50%以上				
	達成率 50%未満				
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	市民からの相談件数については、令和2年度比増となり、団体への助成金交付や伴走支援等を通じて市民の文化芸術活動の活性化に寄与した。また、文化芸術活動の実施に関する感染拡大防止ガイドラインの改訂やコロナウイルスに関する文化芸術相談窓口を設ける等、コロナ禍という特殊な状況において、市民の文化芸術活動の再開・継続につながる施策を展開した。	相談件数、助成事業の採択件数ともに令和3年度比減となったが、引き続き助成金交付、伴走支援等を通じて市民の文化芸術活動の活性化を図り、文化創造交流都市構築に寄与した。	新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけ変更により相談件数、助成事業採択件数は令和4年度を上回る見込みであり、文化芸術活動に還流する市民への支援を引き続き実施した。	

補助事業者による情報の公表	(公財)新潟市芸術文化振興財団ホームページ
---------------	-----------------------

チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
	b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
	c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	×
	d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	×

評価欄	×になった項目に対する今後の取組	<small><a～fにおける取組> アーツカウンシル新潟の事業は、本市における文化芸術の発展に大きく貢献しており、継続的運営に必要な経費を確保する必要があるため</small> <small><g～hにおける取組> 持続的な文化創造交流都市の推進体制構築については数値で測れないため、目標を数値化することは困難である</small>
	目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>

	① 拡充・改善 (補助率、補助額、補助対象経費、その他)	② 継続	③ 廃止
	①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 文化芸術の専門家組織として文化活動の多様な主体に対し事業企画や広報、資金面の相談に乗る等、本市の持続的な文化創造交流都市の構築に寄与するだけでなく、コロナ禍という特殊な状況下では、市民の文化芸術活動そのものを消さないよう支援を行う等の成果を上げており、運営費補助の継続をすべきと考える。		